

2014 年 9 月 2 日

多くの学生が授業にモバイルデバイスを持参する中、 利用が広がるエフセキュアの younited

(2014 年 8 月 26 日ヘルシンキ発 - フィンランド本社発表資料抄訳)

younited のようにどのようなデバイスからでもアクセス可能なクラウドベースのサービスの増加に伴い、教室でモバイル機器を利用する学生は増加する傾向にあります。

夏休みが終わり、学校では新学期が始まりました。ビジネスパーソンのように、自分のデバイスを持ち歩く生徒の数はますます増えています。BYOD（個人デバイスの業務利用）はビジネスの世界のトレンドとなっていますが、学校においても好評を博しています。

予算が限られているため、世界中の多くの小中学校や高校では、生徒が教室でデバイスを利用することを認めています。これは、できるだけ多くの生徒がコンピュータデバイスに確実にアクセスできるようにするための学校側の 1 つの措置なのです。賛成派の人たちは、授業中の共同作業や授業への参加を促し、生徒の将来に向けた準備に役立つ、と主張します。しかし、すべての学校がこの流れに乗じているわけではありません。授業の妨げとなるテクノロジー、生徒の経済格差を浮き彫りにするデバイスといった懸念事項も現実に存在しています。

大学では、BYOD はここ数年ですでに定着しています。高等教育においては、授業内容の大半がデジタル機器を用いて行われているため、学生が自分のデバイスを使用することは、例外というよりは、むしろ当然のこととなっています。大学ではチームワークも非常に重視されますが、学生は共同プロジェクトでの作業においても自分のデバイスを使用しています。

学校が BYOD をすでに導入しているかどうかにかかわらず、確実に言えることが 1 つあります。それは、デバイスは今後ますます普及し、生徒や学生はさらに多くのデバイスを使用していくということです。エフセキュアの調査によれば、12 歳以下の子供の 60% が、すでにインターネットにアクセス可能なモバイルデバイスを少なくとも 1 台所有しています。中高生と大学生について言えば、その割合は明らかに高くなっています。

クラウドの後押し

学校における BYOD の導入は、間違いなくクラウドから後押しされています。さまざまなデバイスやプラットフォームで利用できるクラウドベースのアプリケーションがあれば、すべての生徒のコンピュータに個別のソフトウェアをインストールする必要はありません。生徒は、インターネットへアクセスできるコンピュータまたはデバイスならどこからでも、アプリケーションにアクセスできるのです。

エフセキュアの younited は、あらゆるデバイスやプラットフォーム上で利用できるクラウドベースのアプリケーションの 1 つです。younited を使用すれば、生徒は写真や動画、音楽を楽しむことができるだけでなく、安全な場所で宿題をしたり電子書籍や PDF を閲覧することができます。しかし、younited はただ単に保存するためのものではありません。younited の新しいコラボレーション機能は、さまざまな教育レベルの授業に合わせて利用することができるのです。

younited の新しいグループスペース機能では、チームプロジェクトの中で、共同のドキュメントやプレゼンテーションを一緒に作成したり編集することができます。また、遠足や学芸会の写真や動画を集め、みんなが楽しめるよう 1 つの共通の場所に保存することもできます。教師は、クラス全員が簡単にアクセスできる 1 つのグループスペースに宿題や教材を保存することができます。また、リモート環境で勉強している生徒も、実質的には他の生徒と一緒に勉強できることとなります。

エフセキュアのコンテンツクラウド担当バイスプレジデント、ティモ・ラークソネンは、次のように述べています。「younited を使うことで、生徒たちはチーム内での協力と作業を容易に行えるようになります。社会に出たら求められる、きわめて重要な能力です。younited は、教師も生徒も簡単に使うことができます。フィンランドベースの younited は、米国のクラウドサービスに代わる、堅牢で安全なサービスです。」

younited は、iOS、Android、Windows Phone 8、Windows、Mac、web クライアントで利用できます。

* エフセキュアの 2013 年デジタルライフスタイル調査では、15 カ国（ドイツ、イタリア、フランス、英国、オランダ、ベルギー、スウェーデン、フィンランド、ポーランド、米国、ブラジル、チリ、コロンビア、オーストラリア、マレーシア）で 20～60 歳のブロードバンド加入者 6,000 人を対象に Web インタビューを実施しました。同調査は、GfK によって行われ、2013 年 4 月に完了しました。

** younited for Business の日本での提供は 2014 年の予定です。

*エフセキュアの社名、ロゴ、製品名は F-Secure Corporation の登録商標です。

*本文中に記載された会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。



<http://www.f-secure.co.jp/>

F-Secure – Switch on freedom

エフセキュアは、オンラインセキュリティおよびプライバシー保護を提供するフィンランドの企業です。弊社は、世界中の何百万人もの人々が、監視されることなくインターネットを楽しみ、さまざまなデータを保存や共有する力と、オンラインの脅威からの安全性を提供します。弊社の存在意義は「デジタルフリーダム」のために闘うことです。この動きに参加し、自由のために闘いましょう。1988年創業のエフセキュアは、NASDAQ OMX Helsinki Ltd に上場しています。

エフセキュア株式会社は、エフセキュア社 100%出資の現地法人として設立され、以降、増収を続けながら順調に企業規模を拡大しており、2009年5月に日本法人設立満10周年を迎えました。

会社名: エフセキュア株式会社
カントリーマネージャ: アリエン・ヴァン・ブロックランド
所在地: 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 6F
設立: 1999年5月
事業内容: セキュリティ関連製品・サービスの販売およびサポート

本件に関するお問合せ先

エフセキュア株式会社

マーケティング部

Tel: 03-5545-8942 Fax: 03-5545-8945

Email: japan@f-secure.co.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 6F

URL: <http://www.f-secure.co.jp/>

Blog: <http://blog.f-secure.jp/>